

## 博物館関連施設へのPFI導入事例

三重県生活部作成

| 施設名                   | 開館日                          | 概要  |
|-----------------------|------------------------------|---|
| 仙台市天文台                | 平成20年7月<br>(予定)              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和30年開館の旧天文台を閉鎖し、場所を移して新しい天文台をPFI手法で整備中。主力望遠鏡(口径1.3m)、太陽望遠鏡、市民観察用望遠鏡を備え、プラネタリウム(ドーム直径25m、座席数280)、展示室約1,200㎡などからなる。延床面積約5,900㎡。</li> <li>・PFI事業の内容               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 事業方式: サービス購入型</li> <li>(2) 施設の所有形態: BOT方式</li> <li>(3) 事業期間: 建設期間(3年) + 維持管理・運営期間(30年) = 33年間</li> </ul> </li> <li>・事業者 伊藤忠商事グループ</li> </ul> |
| 神奈川県立近代美術館葉山分館        | 昭和26年開館<br>葉山館は2003年<br>オープン | 昭和26年に設立された日本で最初の近代美術館。本館に加えて新たに葉山館がPFI方式でオープン。葉山館の新築工事とその後の美術館維持管理業務(設備の保守管理、来館者の受付、警備、清掃など)は、PFI事業として、特定目的会社(株)モマ神奈川パートナーズが実施。PFI方式の美術館への適用では日本で最初の例となった。   |
| 横浜人形の家                | 平成18年<br>リニューアル<br>オープン      | リニューアルを機に、経営の独立採算を念頭に置いた自主・自立の管理運営方式を目指し、PFI手法を導入して、施設管理、受付・案内・誘導、企画事業を一元的に行うとともに、開館形態や事業展開など市民ニーズに対応する施設運営の「一括総合委託方式」が導入された。同施設を運営してきた(財)横浜コンベンション・ビューローから、丹青社・トイズ・アクティオ共同事業体が管理委託を受け、施設運営を行っている。  |
| 香川県情報通信交流館「e-とぴあ・かがわ」 | 平成19年4月                      | PFIでつくった建物の中の2フロアーにPFIで開設。10年契約。<br>子どもから大人まで、情報通信技術(IT)に慣れ親しむことができる参加体験型の展示、ITの基礎知識からより専門性の高い技術の習得までできる多彩な講座やプログラム、そこから生まれた仲間とともに作り出す作品(コンテンツ)の発信、さらに幅広い文化活動の集いや発表のサポートなど、多彩な情報化時代の香川の発信拠点としてオープン。   |
| 海上自衛隊呉資料館「てつのくじら」     | 平成19年4月                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日立グループを中心としたPFI事業で整備・運営された施設。長さ76mの潜水艦「あきしお」の実物展示が目玉となっている。オープン1カ月半で入館者10万人を突破、隣の大和ミュージアムとともに、呉の新観光名所となっている。</li> <li>・事業内容 史料館施設整備業務・維持管理業務・運営業務</li> <li>・事業方式 BTO</li> <li>・建設期間 平成17年4月～平成19年3月</li> <li>・維持管理期間 平成19年4月～平成26年3月(7年間)</li> </ul>  |